

# 就職懇談会

ダイジェスト

就活はどう行われ、親は何をサポートするか？



↑開催にあたり挨拶を述べた  
後藤康夫育友会長



↑司会進行は五十嵐佳子  
育友会副会長

就職に関してご父母・保護者の理解を深めていただくために、育友会では毎年「就職懇談会」を開催しています。今年度は対面での開催を予定しておりましたが、コロナの感染状況から判断し、オンラインでの開催に切り替え、10月16日（土）に実施いたしました。大学、企業、学生、それぞれの視点からお話しいただいた講演の一部を誌面でご紹介します。さらに詳しく知りたい方は、育友会ホームページでアーカイブ配信しておりますので、そちらもご覧ください。

※記事は講演内容を一部抜粋するなど、主旨を変えない範囲で手を加えてあります。

育友会 HP で  
アーカイブ配  
信しています



講演

## 就職活動の現況報告と 就職支援体制について

キャリア形成支援課長 堀野賢一郎



### 民間企業と公務員は両立できるか

よくある質問に「民間企業と公務員試験を両立できるか」というものがあります。結論から言えば可能です。公務員の筆記試験対策は、SPI 対策に通じるものがありますし、企業の面接を受けておけば、公務員の選考前に面接を経験できるメリットもあります。

ただ、気をつけていただきたい点があります。まず公務員の筆記試験対策は2月までに終えるつ

もりで進めるということです。3月以降は企業説明会等で就職活動が本格化して忙しくなります。

こういう質問をされる方の多くは、筆記試験対策が遅れているケースが多いです。そういう場合には教養科目だけで受験できる自治体に絞るといった対策が必要です。ケースバイケースですので、キャリア形成支援課あるいはエクステンションセンターに相談していただき、早めに方向性を決めていただければと思います。

次に「民間企業と併願するが、業界や企業が絞

り込めない」という質問があります。この場合は、なぜ公務員を目指すのかを明らかにするとよいでしょう。目的と手段を意識することで、民間企業でも自分のやりたいことを実現できる仕事はあると気づくことができます。「公務員がだめだったら民間企業」ということではなく、仕事の選択肢を増やすという視点で業界・企業を絞り込むといいと思います。

これは、公務員一本でいく場合でも同じです。公務員志望者は筆記試験対策に注力しすぎて、試験直前になっても志望動機や自己PRの準備ができていないというケースが目立ちます。それまでの努力が水の泡となってしまうので、早めに進めていただきたいと思います。

多くの自治体が、就業体験のできるインターンシップを実施しています。1、2年生のうちに夏期休暇中にインターンシップに参加して、職業理解を深めるとよいでしょう。

## ■就職エージェント、就活塾の注意点

民間の就職エージェントや就活塾には注意をしていただきたいと思います。就職エージェントの多くは、内定承諾ごとに企業から報酬を得るビジネスモデルですので、学生に対して強引に内定を承諾させようとする場合があります。大手以外のエージェントについて、その会社が悪質かどうかを見分けることは困難です。就活塾は有償で就職支援サービスを提供する、いわば予備校のようなものです。悪質なものは学生から多額の料金を取ります。神田校舎周辺でも頻繁に勧誘しているという情報があります。

既に登録した学生が、ゼミやサークルを通じて、友達を勧誘することもあります。自宅通学の場合には、郵便物や本人の様子から家族が気づくことがあります。一人暮らしですとこういったことに気づきづらいため、より一層の注意が必要です。

## ■選考中のハラスメント

オワハラという言葉をご存知でしょうか。オワハラとは「企業が学生に就職活動を終えるように迫ること」です。要するに「自分の会社に決めなさい」ということです。多くの学生が内定を獲得する6月くらいから、オワハラの相談が増えてき

ます。脅されたケースもあります。こうした場合は、キャリア形成支援課に相談するようお願いいたします。

選考中のハラスメントもニュースで取り上げられています。面接で選考と関係ない不快な質問をされたり、個別に呼び出されたりなどというケースもあります。

就職活動中はどうしても精神的に追い詰められますし、学生の方が弱い立場になりますので、やむを得ず受け入れてしまうこともございます。ご父母の皆様は、温かく見守りつつ、小さな変化を見逃さないようにしていただければと思います。

## ■ブラック企業の見分け方

就職活動が長期化してきますと安易に就職先を決定してしまうケースが見受けられます。複数内定を得ている場合でもしっかりとした基準で会社を比較しなかったがために、優良企業の内定を辞退して、ブラック企業を選択してしまうケースもあります。

ブラック企業を見分けるには、以下の3点が重要です。①長時間労働、有給休暇がとれない ②固定残業代あるいは変形労働時間制などを採用し、残業代を払わないようにしている ③不自然な大量採用、高い離職率。こういった情報は就職ナビサイトで見分けるのは困難です。『就職四季報』あるいは別の書類やデータから読み解く必要があります。

## ■保護者ができること

次に保護者の皆様をお願いしたいことです。まず経済的支援をお願いします。やはり就職活動はお金がかかりますし、活動中は思うようにアルバイトもできません。スーツや靴といった身支度に関しては、早めに準備をお願いします。

オンライン化が進んでるとはいえ、UIターン就職の場合には交通費も高額になります。自治体によっては首都圏に拠点を設けて学生を支援したり、交通費や宿泊費を補助したりする自治体もありますので、インターンシップの段階でこういったことをチェックしておくといよいでしょう。

それから精神面の支援です。就職活動はとてもストレスがかかります。選考を突破できないとネ

ガティブな気持ちになりがちです。自宅ではリラックスできる環境をつくり、できるだけポジティブな気持ちになれるようサポートをお願いします。

親世代の中には、就職氷河期を経験された方も多く、就職に関しては特に心配されているのでは

ないかと思います。ただ、その頃と現在では、就職活動とそれを取り巻く環境は大きく異なります。その辺を意識していただきたいと思います。

※講演ではこのほか、最新の就職環境、就職活動スケジュール、1・2年生がやるべき準備などが語られました。ご興味ある方は育友会HPのアーカイブ配信をご視聴ください。